

MacTeX を日本語環境で使うための初期設定手順

2016 年 5 月 3 日

MacTeX をインストールしただけでは、うまく日本語を扱うことができません。和文文書を作成するための準備が必要です。本文書では、MacTeX インストール後に和文文書を作成するための初期設定手順を解説します。

設定にはターミナルでコマンドを打ち込む必要があります。ターミナルは

```
/Applications/Utilities/Terminal.app
```

にあります。Finder で `Command + Shift + U` を押して「ユーティリティ」フォルダを開き、「ターミナル」アプリをダブルクリックするのが簡単でしょう。

1 tlmgr を用いたアップデート

まずは、TeX Live レポジトリの内容を最新版に更新するため、次のコマンドを打ち込んで実行してください（管理者ユーザで実行していることを前提としています）。

```
sudo tlmgr update --self --all
```

このとき、パスワードが問われます。このとき、セキュリティ上の理由により、**打ち込んだパスワードは画面に一切表示されません**。パスワード文字数が見えてしまうのを防ぐため、****** のようなマスク文字も表示されません**。そのため、まるでキーボードが効いていないかのように見えますが、入力はされていますので、気にせずにパスワードを最後まで打ち込んで、return キーを押してください。

なお、`sudo` は管理者権限を用いて実行するためのコマンドです。一度実行すると、それからしばらくの間はパスワードなしで `sudo` を連続実行できます。

2 ヒラギノフォントの準備

続いて、OS X に標準で用意されている美しいヒラギノフォントを T_EX で使用するため、次の一連のコマンドを実行してください。一行ずつ順番に実行してください。

```
cd /usr/local/texlive/2016/texmf-dist/scripts/cjk-gs-integrate
sudo perl cjk-gs-integrate.pl --link-texmf --force
sudo mktexlsr
```

3 ヒラギノフォントの埋め込み設定

ヒラギノフォントを埋め込んだ PDF を作成するために、次のコマンドを実行します。OS X のバージョンが 10.10 (Yosemite) 以前か 10.11 (El Capitan) 以降^{*1}かによって、実行するコマンドが異なります。

3.1 10.10 (Yosemite) 以前の場合

```
sudo kanji-config-updmap-sys hiragino-pron
```

3.2 10.11 (El Capitan) 以降の場合

```
sudo kanji-config-updmap-sys hiragino-elcapitan-pron
```

4 参考：ヒラギノフォント以外の選択肢

10.9 (Mavericks) および 10.10 (Yosemite) の場合は、

```
sudo kanji-config-updmap-sys yu-osx
```

とすれば、OS に標準で用意された游フォントを埋め込むように変更できます。

同様に、システムに小塚フォントやモリサワフォントがインストールされている場合も、`kanji-config-updmap-sys` コマンドで埋め込み設定が可能です。

```
kanji-config-updmap-sys status
```

を実行すれば、現在使用可能なフォント設定を確認できます。

*1 本文書執筆段階では、最新版が 10.11 (El Capitan) であるため、それ以降の OS で正しく動作するかは保証できません。

5 TeXShop の設定

続いて、MacTeX によってインストールされる、標準的な TeX ソースエディタ **TeXShop** の日本語設定を行きましょう。TeXShop は

```
/Applications/TeX/TeXShop.app
```

にインストールされています。

5.1 TeXShop の更新

MacTeX に収録されているバージョンよりも新しい TeXShop がリリースされている場合は、最新版にアップデートしておくのがよいでしょう。TeXShop を起動して、メニューから

```
TeXShop → アップデートを確認...
```

を選び、最新版へ更新しておいてください。

もしも自動アップデートに失敗する場合は、[TeXShop の公式サイト](#)から最新版の TeXShop をダウンロードして、`/Applications/TeX/TeXShop.app` を手動で置き換えてください。

5.2 TeXShop の日本語設定

TeXShop を起動して、メニューから

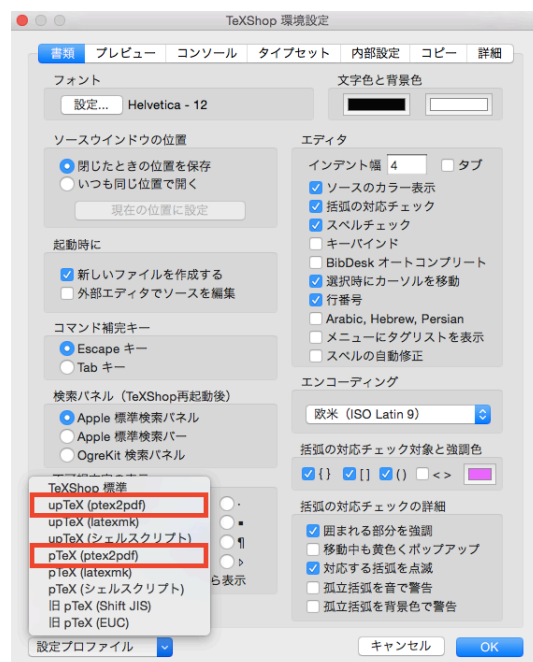
```
TeXShop → 環境設定...
```

を開いてください。設定画面が現れますので左下の「設定プロファイル」をクリックします。

Unicode を活用できる $\text{upL}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ を使用する場合は upTeX (`ptex2pdf`) を、従来の $\text{pL}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ を使用する場合は pTeX (`ptex2pdf`) というプロファイルを選択してください。

また、フォントは初期状態では Helvetica - 12 になっていますが、等幅フォントを使用したい場合は Osaka - 等幅 に変更しておくが見やすいでしょう。

プロファイル変更を終えたら、OK ボタンを押して環境設定を確定させ、一度 `Command + Q` で TeXShop を終了させましょう。



5.3 その他の必要な設定変更

TeXShop を終了させた後、ターミナルで次のコマンドを実行しておきましょう。^{*2}

```
defaults write TeXShop FixLineNumberScroll NO
defaults write TeXShop SourceScrollElasticity NO
defaults write TeXShop FixPreviewBlur YES
```

そして、改めて TeXShop を起動します。

これで準備は完了です！

6 はじめての L^AT_EX

和文 L^AT_EX 文書を作成してみましょう。TeXShop で次の文書を作成してください。

なお、下記の例は upL^AT_EX を使う場合のソースです。従来の pL^AT_EX を使う場合、1 行目の `uplatex` は除いてください。

```
\documentclass[dvipdfmx,uplatex]{jsarticle}
\begin{document}
```

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとうんを見当がつかぬ。

何でも薄暗いじめじめした所で

ニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。

吾輩はここで始めて人間というものを見た。

```
\end{document}
```

なお、ソースウィンドウ上のスペルチェックが鬱陶しいという場合は、

環境設定... → 書類 → エディタ → スペルチェック

および

編集 → 入力中にスペルチェック

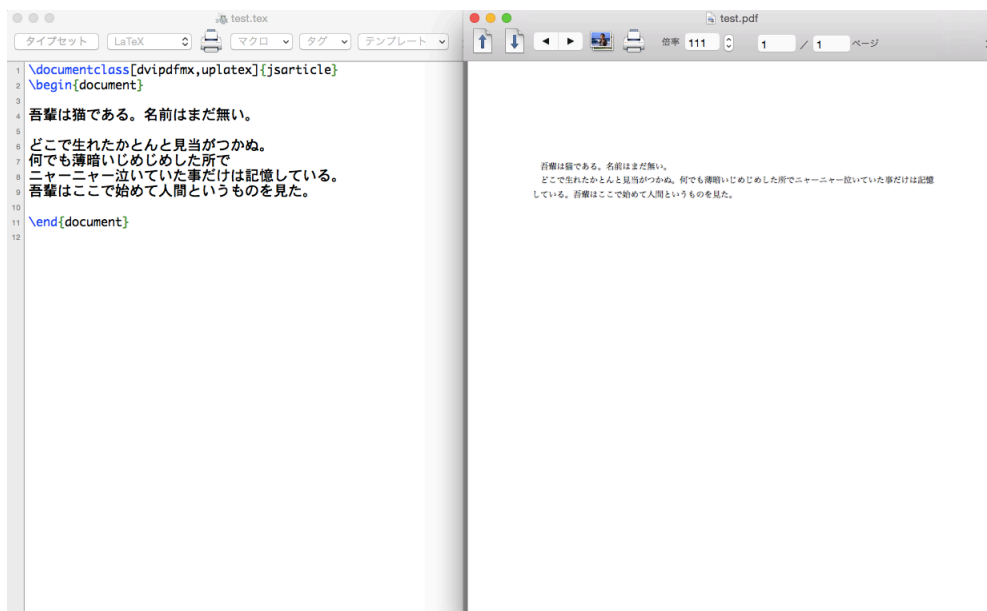
^{*2} 1 行目は、(10.7 Lion など) 古い OS X において、行番号がスクロールしない OS 側のバグに対処するための対症療法を停止させる措置です。最近の OS X ではこのバグが修正されていますので、この対症療法は不要となりました。対症療法が残っていると、スクロール速度が遅くなる原因となります。

2 行目は、スクロール時に上下端で大きく跳ね返るバウンスエフェクトを停止させる措置です。OS X 10.10 Yosemite 以降では、このバウンスがかなり大げさになり、以前の OS X と比べて鬱陶しさが目立つようになりました。ですからこのエフェクトは停止させておくのがよいでしょう。

3 行目は、OS X 10.10 Yosemite 以降において、プレビューウィンドウの PDF が (一部の環境で) ぼやけて見えてしまうのを防止する措置です。

のチェックを外してください。

この文書に適切なファイル名を付けて保存し、Command + Tを押してコンパイル（タイプセット）します。生成された PDF が表示されれば成功です！



L^AT_EX のより進んだ使い方は、[TeX Wiki](#) や奥村先生の『L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門』などを参照してください。

また、TeXShop には、コマンド補完機能をはじめ、T_EX 文書作成を補助する多彩な機能が用意されています。メニューや環境設定を探ってみると、便利な機能の数々が見つかることでしょう。トラブルシューティングや Tips は、[TeXShop FAQ \(TeX Wiki\)](#) に多数集められていますので、疑問が生じた場合はまずはこちらを参照してみてください。